

第1回関西本線活性化利用促進三重県会議 結果

- 1 日時 令和4年6月27日（月）15：30～16：30
- 2 場所 伊賀市三田地区市民センター
- 3 出席者 三重県一見知事、亀山市櫻井市長、伊賀市岡本市長、
JR西日本水口常務理事近畿統括本部大阪支社長
- 4 議題 関西本線の利用促進に向けた取組について
今後の進め方について
- 5 結果
冒頭、会議発足にあたっての各首長、水口支社長からのあいさつ（公開）
首長退席後、各担当で今後の取組についての協議（非公開）
 - ・ 会議の名称について「関西本線活性化利用促進三重県会議」とする。
 - ・ ローカル線については周囲の環境変化により相当困難な状況になっており、大量輸送という観点で十分な力を出せていない。
 - ・ 当会議で取り組んでいきたい方向性
 - ① 地域住民等に現状を正しく理解してもらい危機感を共有する
 - ② 地域の企業や学校等を巻き込んで、地域との連携を促進する
 - ・ 当会議の構成員は、課長級メインとしつつ、テーマや中身に応じて、住民代表や担当セクションに加わっていただいたり、検討の中身については、部長級に入っていただき議論するというような柔軟な対応も可能な会議体にしていく。
 - ・ 今後の取組として、各々のデータを持ち寄って、関西本線の利用実態、利用者の増加が見込めるポイントはどういうところにあるか等の分析をしたうえで、効果の高いところから順番に戦略を立てて取組を進めていく。
 - ・ 住民の方々や企業等に対して集めたデータ等を活用しながら、リーフレットを作成して住民の理解促進や啓発を行っていく。
 - ・ データ分析の結果から通勤・通学利用者、日常利用者、観光客など各ターゲット層に向けた具体的な取組を検討していく。
 - ・ 取組については、しっかり結果を検証して、うまくいっていないものについては改善を図りPDCAサイクルを回しながら利用促進に向けた取組を進めていく。